

第6回円空大賞円空賞

高山登（たかやまのぼる）

プロフィール

- 1944年：東京都豊島区に生まれる
- 1968年：東京芸術大学美術学部油画科卒業
- 1970年：東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了
- 1970年：戸塚スペース'70（横浜）企画・出展現代美術の動向展（京都国立近代美術館）
- 1971年：第11回現代美術展（東京都美術館）出展
- 1973年：第8回パリ国際青年ビエンナーレ（パリ国立近代美術館）出展
- 1976年：シドニービエンナーレ（ニューサウスウォールギャラリー／オーストラリア）出展
- 1978年：第6回現代彫刻展（神戸須磨離宮公園）出展
- 1979年：今日の作家'79（横浜市民ギャラリー）企画・出展
- 1984年：現代美術の動向：1970年以降の美術（東京都美術館）出展
- 1987年：国際鉄鋼彫刻シンポジウム（八幡高田高炉記念公園／北九州）出展
- 1991年：インターナショナルスタジオプログ PS. 1MuseumN. Y
- 1995年：1970年一物質と知覚（岐阜県美術館・広島現代美術館・北九州市立美術館ほか）出展
ASIANA:ContemporaryArtFromFarEast ベニスビエンナーレ出展
- 1996年：日本1970一物質と知覚（サンティエイヌ美術館／フランス）出展
- 1997年：Hybrid&Wood（光州ビエンナーレ）出展
- 2000年：Mann&Space（光州ビエンナーレ）出展
高山登展（リアスアーク美術館／岩手）
- 2001年：みちのくアートフェスティバル2001（みちのく杜の湖畔公園／宮城）出展
- 2003年：アート宮城2003（宮城県美術館）出展
- 2005年：もの派一再考（国立国際美術館／大阪）出展
- 2010年：高山登展300本の枕木一呼吸する空間（宮城県美術館）出展



選評

高山登氏は不思議な作家であるといえる。彼は主として使い古した鉄道の線路の枕木（古い枕木のように造形した木材）をもって作品を作る。この鉄道という文明の利器に長い間圧殺されてきた枕木に彼はあたかも生命の根源を見ているかのように、その枕木を組み合わせて、不思議な風景を現出する。枕木はあたかも人間や動物や草木のように命をもち、圧殺されたその生命の再生を訴えているかのようなのである。彼の作品に「遊殺」と題されたものがあるが、彼は、文明によって圧殺された現代の生きとし生けるものを遊びによって復活させようとするのであろうか。



遊殺高山登展(2010年)
宮城県美術館



遊殺高山登展(2010年)
宮城県美術館



遊殺登米トリエンナーレ



遊殺高山登展(2010年)
宮城県美術館



遊殺高山登展(2010年)
宮城県美術館